

名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2025年3月14日

学部・学科名 外国語学部・英米語学科

担当教員氏名 吉本 美佳

1. 区分	中期留学 ・ <u>語学研修</u> ・ 海外実習
2. プログラム名称	春期マルタ研修
3. 渡航先国名	マルタ (イムシーダ)
4. 派遣期間	2025年 2月 1日 (土) ~ 2025年 3月 2日 (日) 30日間
5. 派遣先教育機関名	マルタ大学附属語学学校
6. 参加学生数	29名
7. 派遣目的	現地での生活をとおして英語力を向上させるとともに、異文化への気付きを深め、異文化間コミュニケーション能力を高める。
8. 派遣内容	マルタ大学附属の語学学校での語学研修と、午後及び週末に企画される文化施設や都市を訪れることにフィールドワークや歴史学習。また大学の寮における異文化での生活体験を含む研修。
9. 成果	帰国後のアンケートでは、研修全般に関してすべての学生が肯定的な回答をしている。また学校での授業や寮での生活についても高い満足度がわかる。特に寮での生活は、「自立につながった」という意見も多く、語学力だけでなく、生活面や精神面での成長を感じられる機会となったことがうかがえる。また、ほとんどの学生がこの研修での経験から、英語に対する学習意欲の高まりを感じ、国際的なコミュニケーション能力を高める意欲を得たと記している。
10. 備考	

以上

2024 年度春期マルタ研修レポート

今回の研修について必ず下記の 3 項目を含めた内容のレポートを書いてください。

*日本語、英語いずれでも構いません。文字数は **200 字以上** をお願いします。

*項目ごとに文章を段落分けしてください。

*下記 3 項目以外の内容を含めても構いません。

① この研修で得たことや学んだことを 3 つ、具体例を挙げながら記入してください。自分について、友人や仲間について、現地大学で学んだことについてなどのようなことでも良いです。

② この研修はあなたにどんな影響を与えましたか？出発前と比較して変わったことを最低でも 1 つ、具体例を挙げながら記入してください。

③ この研修での経験は、あなたのこれからの生活や将来に、どのように活かせると思いますか？

① 私はこの研修で自分自身を成長させることができると実感したことが 3 つあります。

1 つ目に、積極性の大切さについてです。語学学校では文法と会話の授業で分かれており、それぞれ 1 か月間受けました。クラスメイトのみんなが自身の考えを能動的に発言して議論を深めていくことです。この形式は日本の学校の授業ではそこまで多くありません。しかし、この授業を受けて他人の考えを柔軟に受け入れるだけでなく、自分の考えも発言して交流を深めていこうという積極性を磨くことができました。また、文化や自然においては、放課後や週末にはマルサシュロックの朝市やヴァレッタの街並みなどといった様々な観光名所に行きました。マルタ名物の食べ物やお祭りにも積極的に参加し、刺激を受けることでこれらの体験は素晴らしい「宝物」となりました。話し出せば止まらなくなるくらいです(笑)

次に、コミュニケーションに関して、人と話すことが好きな性格ですが、すでにできているグループの中や授業内でのグループ交流にうまくなじむことができるか不安を抱いていました。しかし先生やクラスメイトがやさしく声をかけたり話を聞いてくれたおかげで自分自身の英語を話すことと自分の気持ちを伝えることに自信がついてきました。英語力を試すために自ら携帯を使わず現地の人たちに英語で話しかけて道案内してもらったことを思い出します。

そして、最後に生活力の重要性に気づいたことです。私は 1 度アメリカ研修にも参加しましたが、ホストファミリーと生活していると多方面で助けてもらえるのでそこに甘えて、時間にルーズになったりわがままを言うことがあり、迷惑をかけた記憶があります。しかし、この研修は寮生活だったため、食事の献立を考えたり休日を含めた、悔いの残らないような週計画を組んだりすることで自己管理能力がつけました。同じフロアの友達とも気配りしあいながらコミュニティを築くことができ、もっと人間的に自身を成長させていきたいと思えるようになりました。

英語力も自身の生活力も鍛えられるこのマルタ研修は海外に行ったことがない人も、英語に話す自信があまり付けられない人も、生活力があまりないと感じている人にもおすすめです。ぜひ挑戦してください！

② この研修では、自分の視野をより一層広げることができました。特にそれを実感したのは、研修の後半で参加した『English Cafe』というアクティビティです。ここでは、マルタの生活を通して、さまざまな国籍の人々が英語力を向上させるために、お茶を飲みながら英語を積極的に話す場として設けられていました。場合によっては、話す相手がランダムに変わることもあるそうですが、私が参加した時は変わりませんでした（笑）。このアクティビティでは、他大学の日本人だけでなく、南米やヨーロッパの人々と英語で、それぞれの地域の特性や文化についてたくさん交流することができました。この体験を通して、私は日本の良さや魅力を外国人に伝えるだけでなく、英語を話す機会としても活用したいと強く思うようになりました。実際、この体験が『English Cafe』に行った後の英語学習の強いモチベーションにもなりました。

③ 授業でクラスメイトや先生に助けをもらいながら、自分自身で発言する力をつけられただけでなく、そのエネルギーは現地の人々からも受け取ることができました。英語での説明がうまくまとめられなかったり、話すスピードが遅くなってしまったりと反省点が多くありましたが、そんな時でも現地の人々はしっかりと話を聞いて、私の言いたいことや考えをくみ取ってくれました。また、日本の文化を積極的に受け入れようとしてくれた姿勢は忘れられません。その方々のように、私自身も、困っている人や頼ってくれた人に対して、真摯に話を受け止めて手を差し伸べる姿勢を日本でも大切にしていきたいと思います。マルサシュロックのお土産屋さんで交わした店員との会話や教えてくれたことは、今でも印象に残っています。英語力については、単に「話すこと」ではなく「自分の考えを表現する力」を身につけたことが大きな成果です。その実感からか、授業中に先生から「あなたの積極性はもはや日本人ではない」と言われるほどでした（笑）。話すだけでなく、相手の考えをしっかりと受け止めようとする姿勢も向上し、友達との何気ない会話や面接など、将来に役立つコミュニケーション能力が身についたと感じています。この成長を活かして、将来の夢に向けて努力を続けていきたいと思います。

最後に、人と話すことが好きな人にも、積極的にコミュニケーションをとり、異文化や多様な考え方を受け入れる力を養えるこの経験は非常に貴重です。ぜひ参加してほしいと思います。

2024 年度春期マルタ研修レポート

今回の研修について必ず下記の3項目を含めた内容のレポートを書いてください。

*日本語、英語いずれでも構いません。文字数は200字以上をお願いします。

*項目ごとに文章を段落分けしてください。

*下記3項目以外の内容を含めても構いません。

① この研修で得たことや学んだことを3つ、具体例を挙げながら記入してください。自分について、友人や仲間について、現地大学で学んだことについてなどどのようなことでも良いです。

② この研修はあなたにどんな影響を与えましたか？出発前と比較して変わったことを最低でも1つ、具体例を挙げながら記入してください。

③ この研修での経験は、あなたのこれからの生活や将来に、どのように活かせると思いますか？

①とても充実し、かけがえのない経験に満ちた1ヶ月間でした。初めて家を離れ、海外での生活に挑戦する中で、当初は「自分にやっていけるのだろうか」と不安と心配でいっぱいでした。しかし、日々の生活を重ねるうちにその不安は次第に薄れ、代わりに多くの経験と学びを得ることができました。その中で、自分自身の考え方や行動を見つめ直し、将来やこれからの生き方について深く考える貴重な機会となりました。多くのことを学んだ中で、最も大きな気づきとなったのは英語力の重要性でした。マルタには、現地の人々はもちろん、韓国や中国などのアジア諸国、ポーランドやアメリカなど、世界各国からの留学生が集まっていました。そんな多様な環境の中で、共通の言語として使われるのが英語です。各国の言葉を話せなくても、英語を通じてさまざまな国の人々とコミュニケーションを取れることに、英語の持つ大きな力を実感しました。しかし、実際に現地の人々と交流する中で、相手の言葉を聞き取るだけでなく、自分の思いをスムーズに伝えられないことに、悔しさやもどかしさを感じる場面が多々ありました。日本とは異なり、マルタの人々はとても積極的で、挨拶やちょっとした会話を自然に交わします。そんな中、せっかく話しかけてもらっても、うまく英語で返せない自分が歯がゆく、もっと話せるようになりたいという思いが強くなりました。それでも、この悔しさをバネに、自分なりに積極的に英語で話しかけるよう努め、お店などでも積極的に会話を試みるようになりました。この経験を通じて、「絶対に英語を話せるようになりたい！」という気持ちが一層強まり、英語学習への意欲が今まで以上に高まりました。そして、語学を上達させるうえで最も大切なのは「会話力」だと実感しました。実際に人と対話しながら学ぶことこそが、語学習得の近道だと感じたため、今後も積極的に英語を話す機会を増やし、より実践的なスキルを身につけていきたいと思えます。

MULS での授業を通じて、最も強く感じたのは「積極性」の大切さでした。私を含め、多くの日本人学生は、わからないことがあっても発言をためらい、意見を求められても消極的な姿勢をとることが多くありました。一方で、他国の学生たちは自分の意見を積極的に述べ、活発に議論を交わしていました。そのような環境の中で、日本人の受け身な姿勢が際立ち、自分自身ももっと積極的に発言する必要があると強く感じま

した。授業を受ける身として、ただ聞くだけでなく、先生に積極的に質問をしたり、自分の考えを述べたりすることで、学びの質を高めることができるはずです。今後は、自ら発言することを恐れず、より主体的に授業に取り組み、学ぶ姿勢をさらに強めていきたいと思います。

今回の研修では、もともと仲の良い友達が少なかったため、共同生活や集団生活の中でうまくやっていけるか不安を抱えたまま旅立ちました。しかし、ルームメイトをはじめ、出会った仲間たちはみんな温かく、安心して過ごすことができました。マイペースで計画性があまりない私に対して、周りの友達は何事にも計画的で、積極的に行動しており、見習うべき点がたくさんありました。誰かが困っていれば自然と助け合い、目の前のことに全力で取り組む姿勢、やるべきことをしっかりこなしつつ、遊ぶときは思い切り楽しむメリハリのある姿がとても印象的でした。そんな素晴らしい仲間たちの姿を間近で見たからこそ、「私ももっと頑張ろう」という気持ちが湧き、この1ヶ月間を全力で乗り越えることができました。英語の勉強や異文化交流、日々の生活の中で悩むことがあっても、仲間たちの存在が支えとなり、最後まで前向きな気持ちで挑戦し続けることができたと感じています。今回の研修を通じて得た経験と仲間の大切さを胸に、これからも成長し続けていきたいです。

②MULS での授業では、担当してくださった先生の話す英語が非常に早く、最初はほとんど聞き取ることができず、とても苦戦しました。どんなに耳を傾けても先生の言っていることが理解できず、もどかしさが募るばかりでした。NUFS でも外国人講師の授業はありましたが、聞き取れなかった部分は日本語で補足してくれたり、ゆっくり話してくれたりしたため、深く考えずにそのまま流してしまうことが多かったように思います。しかし、今回の授業ではそのような配慮が一切なく、本当の意味で「自分の英語力が試されている」と痛感しました。この悔しさをきっかけに、「絶対に聞き取れるようになりたい」という強い思いが生まれ、授業中はこれまで以上に集中して耳を傾けることを意識しました。さらに、寮に戻ってからも YouTube でニュースや英会話を聞くなど、リスニング力向上に積極的に取り組むようになりました。今までは「何とかなるだろう」という気持ちで授業を受けてしまっていたが、その姿勢が今回、自分にとって大きな課題となったことを痛感しました。日々の授業態度はもちろん、自学習がどれほど大切かを身をもって実感し、研修中は洋楽や洋画を積極的に取り入れるなど、日常の中で自然に英語に触れる機会を増やしました。その結果、最後の授業では先生の話す内容をほとんど聞き取ることができ、自分のリスニング力が大きく向上したことを実感しました。この経験を通じて、リスニング力を伸ばすには継続的な努力が不可欠であることを学び、日本に帰国した今でも、毎日英語に触れる習慣を続けています。今回の研修を通じて得た学びを糧に、今後も英語学習に対する意識を高め、さらにスキルを磨いていきたいと思っています。

実家暮らしをしてきた私にとって、見知らぬ方々との共同生活は大きな不安の種でした。皆で協力して料理や洗濯をこなせるのか、自分にできるのかという戸惑いもありました。しかし、仲間と次第に心を開き、打ち解ける中で、共に過ごす時間がとても楽しいものへと変わっていきました。朝昼晩の食事を自分たちで考え、買い出しをし、料理をするという経験を通じて、毎日の献立を考えることや食費の管理の大変さを痛

感しました。今まで当たり前のように家で食べていたご飯が、どれほどの手間と工夫の上で成り立っていたのかを改めて実感し、毎日家族の食事を準備してくれる母に対する感謝の気持ちがこれまで以上に強くなりました。また、マルタでは日本のように米や魚といった食材が手に入らず、日々当たり前のように食べていたものが食べられないことに寂しさを感じることもありました。さらに、毎日湯船に浸かる習慣があった私にとって、シャワーだけの生活や、土足で過ごす文化には大きな抵抗がありました。しかし、現地の人々が当たり前のようにその環境で生活している姿を見て、「これは贅沢な悩みなのかかもしれない」と思うようになりました。そして、今まで自分がどれほど恵まれた環境で暮らしていたのかを改めて実感し、そんな環境を整え、支えてくれていた両親への感謝の気持ちでいっぱいになりました。こうして海外で学ぶ機会を与えてくれ、私の「やりたい」という気持ちを尊重し、実現させてくれた両親の存在の大きさに改めて気づきました。この貴重な経験を無駄にしないためにも、自分自身もっと努力し、必ず成果を出したいという強い決意が生まれました。今回の研修を通じて、それまで当たり前だった日々の生活の中にどれほど多くの支えがあったのかを知り、心から感謝することの大切さを学びました。何気ない日常の一つひとつに感謝の気持ちを持つことができるようになったことも、私にとって大きな成長の一歩だったと感じています。

③マルタという魅力あふれる国で、素敵な人々と出会い、充実した日々を過ごせたことに、毎日心からの感謝と幸福を感じています。現地の方々との交流を通じて、英語力の向上はもちろん、語学全般に対する意欲が一層高まりました。英語だけでなく、さまざまな言語を学びながら、より多くの人々とコミュニケーションをとりたいという思いが芽生えました。もともと人見知りで、コミュニケーションが苦手だった私にとって、今回の海外研修は大きな転機となりました。さまざまな人々の考え方や価値観に触れることで視野が大きく広がり、新たな一步を踏み出す勇気を与えてくれた、かけがえのない経験となりました。このような経験を通じて、改めて私は「英語に携わる仕事に就きたい」という思いを強くしました。異文化の中での学びや人とのつながりの大切さを実感したからこそ、英語を使いながら多くの人と関わる仕事がしたいという気持ちは、以前にも増して揺るぎないものとなりました。また、この1ヶ月間の研修を乗り越えられたのは、間違いなく周りの人々の支えがあったからこそだと感じています。ルームメイトや仲間たちがいつもそばで励まし合い、協力しながら生活を共にしてくれたおかげで、不安も乗り越えることができました。さらに、海外で学ぶ機会を与えてくれた家族や、日々の生活を支えてくれた人々への感謝の気持ちも改めて強くなりました。これからは、より英語力を高めるために学習を継続し、日本にいても積極的に英語を話し、触れる機会を増やしていきたいと思います。そして、周りの人々への感謝の気持ちを忘れずに、支えてもらうだけでなく、自分自身も誰かの力になれるよう成長していきたいです。この研修で得た経験を糧に、将来の目標に向かって努力を重ねていきます。

2024年度春期マルタ研修レポート

今回の研修について**必ず下記の3項目を含めた内容**のレポートを書いてください。

*日本語、英語いずれでも構いません。文字数は**200字以上**をお願いします。

*項目ごとに文章を段落分けしてください。

*下記3項目以外の内容を含めても構いません。

- ① この研修で得たことや学んだことを3つ、具体例を挙げながら記入してください。自分について、友人や仲間について、現地大学で学んだことについてなどどのようなことでも良いです。
- ② この研修はあなたにどんな影響を与えましたか？出発前と比較して変わったことを最低でも1つ、具体例を挙げながら記入してください。
- ③ この研修での経験は、あなたのこれからの生活や将来に、どのように活かせると思いますか？

①研修を通してまず、自立心を身につけられた。海外での4週間をどう過ごせばよいのか見通しを持って準備する事から始まった。だが、現地での生活は想像よりも自分自身で管理することが多かった。そのため、食生活においては自炊や外食のバランスを取ったり、体調面を考慮した生活を心掛けた。また、交通機関の利用など時間通りに来ない事が多いため、時間に余裕をもってスケジュールを組んだ。初めてで慣れない環境ではあったが、早く現地の生活に慣れるために毎日外へ出たことが自立に繋がった。次に、学校や地域の方から異文化を学び、広い理解力を得ることが出来た。学校では様々な国から来た他の留学生と積極的に交流した。その際に、どんな方も自分とは違うバックグラウンドがあり、考え方や価値観も違うと学んだ。授業中に政治や宗教、文化についてのディスカッションがあった。共通点もあれば、異なる点もあり、興味を持った。特にイスラム教徒のクラスメイトからは断食の期間や、キリスト教徒のクラスメイトからはマルタで開催される祭りの宗教的な背景を学んだ。その行事の実際の感想を聞いたところ、宗教を尊重する重要な期間であり、教徒が一丸となることに感動すると言っていた。宗教観も人や国によって様々であり、自身の宗教観とは大きく異なる点が多く印象的だった。最後に授業や現地の方から語学を学ぶコツを学

んだ。授業スタイルは日本とは異なり、自主的な発言が求められた。また、わからない点があればすぐに教師に確認してわかるまで聞くという生徒の姿勢が印象的だった。わからないままで終えることのないように学び続けることが重要だと知った。また、街で出会った現地の方との会話中に間違いを恐れなくて話し続けられればいと声をかけていただいた。間違いも大きな経験となることを深く理解できた瞬間であった。この経験が4週間で自分を大きく変えるきっかけとなり、授業中の学ぶ姿勢が自主的に変化した。

②研修前と比べて自分から発信する力が強くなったことが最大の変化だと考える。この変化はまず、クラスメイトが問いや質問を自ら発言していく授業スタイルから得た。これまで日本で受けてきた授業とは異なっており、研修当初の授業では間違いを恐れて自ら発表できなかった。だが、間違いも一つの学びであることを授業で学び、殻を破って自ら発言した。発言のために自分の意見や問いに対する答えを明確にしたことで、より積極的に授業に参加し、深い学びが得られた。自分の意志を明確に持つことは現地での日常生活にも活かされた。自分の意見があることで他者との会話をさらに深められたことも多くあった。このように研修前と比較すると、自分の意思を伝える力が強くなった。

③マルタでの4週間は非常に貴重な経験となった。英語でコミュニケーションを取り、これまで知らなかった世界を学ぶことが出来た。そのため、より語学を学ぶ意欲が強くなった。今回身につけたスキルを今後に活かすために英語や海外の文化・歴史・宗教などを学び続けたい。また、さらに違う国での留学に強く興味を持った。海外の文化や人々の暮らしを自分の身で経験することの重要性を学んだからである。その際は、異文化理解や自身の意思を明確にするという力が役立つと考えられる。研修で身につけた異文化理解力や学びへの意欲を新しい世界での学びに向けて活用していきたい。